

亀山7座

亀山市は、鈴鹿山脈や布引山地の豊かな自然に恵まれ、標高500～900m級の特色ある山々が連なり、多くの登山者に親しまれています。

市域の山々の素晴らしさを広く理解していただき、新たな観光資源として次世代へ継承するため、代表的な7つの山々(野登山、仙ヶ岳、臼杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳)を亀山7座とし、それらを結ぶトレイル「亀山7座トレイル」を開発し、市の魅力を発信しています。今回は、「山の日」にちなみ、亀山7座をご紹介します。

問合先 地域観光課観光交流グループ (☎96-1215)



四方草山(しおそやま) 標高:667m

東側の霧ヶ岳、北山、南側の南峰から四方に伸びる尾根を含めると、広くて大きい山です。やせ尾根、キレット、崩壊地^{きりやま}などが多い山ですが、北側の錐山(590m)や南峰(657m)は好展望です。



臼杵ヶ岳(うすきねがたけ) 標高:697m

山麓は円錐の形をした上品な姿で、頂上からはふもとのまちを一望できます。三重県側に数本の尾根が張り出し、花崗岩でできた尾根上には無数の露岩、岩峰や、山の名前となっている「ウス岩」、「キネ岩」が見られます。急斜面等もあり、中級から上級者向けの山です。



三子山(みつごやま) 標高:568m

北峰、中峰、南峰の3つのピークからなり、最高峰の北峰では、正面に四方草山、遠くには仙ヶ岳を望むことができます。鈴鹿峠から安楽峠への縦走路でキレット等危険な箇所もありますが、長い期間、登山が楽しめる山です。



高畑山(たかはたやま) 標高:772.9m

山頂での解放感が素晴らしく、360度の大展望で、伊勢湾、琵琶湖、鈴鹿の山々を望むことができます。鈴鹿峠の高畑山登山口から入ると、県指定天然記念物「鈴鹿山の鏡石」を見ることができ、鏡石からは坂下の集落を見下ろすことができます。

亀山7座トレイル登山道活用ネットワーク

亀山7座を結ぶ「亀山7座トレイル」を開発し、市の魅力を発信する活動主体として、石水溪観光協会、鈴鹿高等学校(山岳スキー部)、亀山市地域社会振興会が「亀山7座トレイル登山道活用ネットワーク」を平成30年5月に結成しました。登山道の維持管理を行い、亀山7座を新たな観光資源として広く情報発信しています。



関連情報

亀博自由研究のひろば
**亀山の山々が生んだ
 世界的登山家
 尾崎 隆**

9月5日まで
 観覧無料



ところ 歴史博物館 企画展示室
 開館時間 午前9時～午後5時
 (展示室への入場は午後4時30分まで)
 休館日 毎週火曜日



仙ヶ岳(せんがだけ) 標高:961m

西峰(頂上)と東峰(仙の石)の2峰からなる鈴鹿山脈南部を代表する秀峰です。眺望も素晴らしく、特に仙の石は、登山者を圧倒します。頂上から西側には、長大な尾根「御所平」がなだらかに続き、4～6月には、アカヤシオ、シロヤシオなどの花が多く咲きます。



野登山(ののぼりやま) 標高:851.4m

古くは鶏足山、現在では野登寺というお寺があることから、「ののぼりやま」として親しまれています。山頂付近のブナの自然林のほか、3～4月には、全国屈指のミツマタの群生を見ることができます。



錫杖ヶ岳(しゃくじょうがたけ) 標高:676m

鈴鹿山脈の南側に位置する布引山地のなだらかな山地の北端に位置します。尖った岩峰は遠くからでも目立ち、頂上からは素晴らしい眺望が楽しめます。昔は百丈岳、雀頭山とも呼ばれ、雨乞いを行う山にもなっていました。

安全に登山を楽しむために

雨具をはじめ、
 気候に応じて、長袖や
 脱ぎ着しやすい上着などを
 準備するほか、水分、携帯食、地図、
 救急用品などを事前に準備しましょう。
 また、登山計画を立て、当日までに
 警察署に登山届を
 出しましょう。

■当日の注意点

- ☑ 体調や気象情報の確認
- ☑ 登山前のウォーミングアップ
- ☑ 携帯電話など通信機器の持参
- ☑ 熱中症対策と適度な休憩



亀山市消防山岳救助隊員

亀山7座の選定理由

本市出身の世界的アルピニスト尾崎隆さんは、世界の8,000m級の14座のうち7座の登頂に成功しました。その輝かしい登山人生の出発点が、鈴鹿山脈、特に石水溪の山々であったことから、その偉業をいただき、故人の故郷である亀山市域の標高約700m前後の7つの山を選んで「亀山7座」としました。



亀山7座について
 詳しくは、
 市ホームページを
 ご覧ください。

URL
<https://www.city.kameyama.mie.jp/docs/2020051900010/>

